

昇降機業界で活躍する女性の紹介

*Ele-Komachi*  エレ小町 No.15

1. プロフィール

名 前：栗山 里美  
 な ま え：くりやま さとみ  
 会 社 名：三菱日立ホームエレベーター株式会社  
 所 属 部 署：生産企画部 生産管理課  
 職 種：生産管理  
 入 社 年 度：1993年度



本社工場 玄関前で

2. 担当業務について

私が所属している生産管理課は、お客様から注文を受けたエレベーターや部品を資材部門や製造部門に対し、正しい仕様と必要とされる納期で製作指示、管理を行う部門です。

現在の部署には2014年に異動し、それまでは業務部で営業部門の窓口を担当していました。このため製品、部品知識はありましたが、いざ製作手配の実務を行うとなると1つの組立品から数多くの部品手配が必要で、より細部までの知識を求められ、まだまだ学ぶことが多く、様々なことを発見、経験しています。

お客様の注文品をスムーズに手配し、安全安心な製品がお届けできるよう、プロ意識をもって業務に邁進しています。

3. 趣味など

子供を授かる前は、主人とハーレーダビットソンを乗

りこなすバイカーで、週末は2人でツーリング三昧でした。風を感じながら自然の音をBGMにととても素敵な時間を過ごしたのを思い出します。

現在の趣味は子供たち！ 女の子2人（小学校6年生と3年生）の母親です。お菓子を作ったり、公園、図書館、博物館などへ行ったり、小学生の勉強を一緒にしたり（漢検にも挑戦中）、子供を通して沢山の経験をしています。

お気に入りのバイクはガレージの中で眠っていますが、子供に手がかからないようになったら、大好きなツーリングを楽しみたいと思っています。

4. 読者へのメッセージ

2005年に第一子を授かり産休、育休を取得させていただきました。復職後は「これまで以上に頑張らなくては」という気持ちが先行し、仕事、子育て、家事全てに全力で取り組んでいましたが、当然上手くいくはずもありませんでした。全てが中途半端で、納得のいかないことが多く、時間がいくらあっても足りませんでした。誰かを頼ることが「弱音」に思え、相談することや意思表示することができず、とうとう身体を壊してしまいました。

この時の経験で、学んだことが2つあります。1つ目は、「言葉に出して自分を表現すること」です。絶対にサポートしてくれる人がいます。心配してくれる同僚、完璧な家事じゃなくても微笑んでくれる家族がいつも近くにいます。独りで頑張っても大きな力にはなりません。

2つ目は、自身の環境によって「ワーク・ライフ・バランス」は異なります。無理することのないスピードで両立することが大切だと思います。

全ての人達が無理せず「笑顔の耐えない職場作り」と「明るい家庭生活」の両立ができるよう、努めていきましょう。

5. 上長のコメント

生産管理課にて設計手配後の部品調達から製造現場に対し『整流化』を常に意識して、製作指示、管理をしっかり行っています。持ち前の明るさとバイタリティーで仕事と子育てを両立し、周囲からの人望も厚い女性です。当社一期生として、今後も更に、活躍してくれることを大いに期待しています。